



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京精密

コード番号 7729 URL <http://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務会社執行役員社長 (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	32,744	15.4	5,699	30.5	5,968	30.6	4,206	46.8
26年3月期第2四半期	28,366	10.0	4,367	1.0	4,569	7.0	2,866	131.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 4,465百万円 (23.9%) 26年3月期第2四半期 3,602百万円 (280.3%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第2四半期	101.99		101.56	
26年3月期第2四半期	69.52		69.26	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	91,251		68,677			74.7
26年3月期	82,565		64,668			77.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 68,152百万円 26年3月期 64,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
27年3月期	—	22.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	62,000	12.2	10,000	18.1	10,300	14.1	7,300	24.6	176.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	41,288,881 株	26年3月期	41,278,381 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	33,869 株	26年3月期	33,542 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	41,246,457 株	26年3月期2Q	41,233,358 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における内外経済情勢は、国内では消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が見られたものの総じて緩やかに回復が続き、米国では企業業績や雇用改善が進み、個人消費や住宅市場も底堅く推移するなど堅調な回復傾向が続きしました。一方、欧州では景気持ち直しの動きが弱まり力強さを欠く展開となり、近年世界経済の牽引役となってきた中国など新興国でも総じて成長ペースの足踏み状態が続きしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、受注高 336 億 49 百万円（前年同期比 19.7%増）、売上高 327 億 44 百万円（前年同期比 15.4%増）、営業利益 56 億 99 百万円（前年同期比 30.5%増）、経常利益 59 億 68 百万円（前年同期比 30.6%増）、当期純利益 42 億 6 百万円（前年同期比 46.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、スマートフォンの新機種発売や新興国への急速な普及などもあってモバイル端末需要が一層好調に推移するなか、半導体メーカーもこれに呼応して積極的な設備投資を継続、当社製品が主に属する後工程製造装置への需要も増加しました。このため、当社装置の受注・売上も堅調に推移し、累計期間実績は前年に比べ増加いたしました。

この結果、受注高は 207 億 65 百万円（前年同期比 26.4%増）、売上高は 204 億 63 百万円（前年同期比 17.4%増）、営業利益は 32 億 41 百万円（前年同期比 47.2%増）となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、主要ユーザーである自動車関連業界がワールドワイドな生産体制構築のため引き続き積極的な設備投資を進めたほか、暫く低迷していた工作機械も本格的に回復、加えて国内中堅中小企業マーケットにおける政府補助金の設備投資促進の政策効果も引き続き顕著に見られました。このため、当社機器の受注、売上も堅調に推移し、累計期間実績は前年に比べ増加いたしました。

この結果、受注高は 128 億 84 百万円（前年同期比 10.4%増）、売上高は 122 億 81 百万円（前年同期比 12.3%増）、営業利益は 24 億 58 百万円（前年同期比 13.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 86 億 86 百万円増加し、912 億 51 百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金の増加 52 億 80 百万円、受取手形及び売掛金、電子記録債権の増加 12 億 59 百万円、仕掛品の増加 8 億 72 百万円、その他の有価証券の増加 6 億 26 百万円等であります。

当第2四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ 46 億 77 百万円増加し、225 億 74 百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加 44 億 13 百万円等であります。

当第2四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 40 億 8 百万円増加し、686 億 77 百万円になりました。増減の主な要因は、利益剰余金の増加 36 億 70 百万円等であります。この結果、自己資本比率は 74.7%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ52億80百万円増加し、256億91百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、71億23百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益59億73百万円、仕入債務の増加42億49百万円、たな卸資産の増加14億53百万円、売上債権の増加11億2百万円、減価償却費8億66百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億55百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億62百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億31百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払額5億36百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間業績は、半導体製造装置部門、計測機器部門ともに増収増益で、前回発表予想を上回ることとなりました。第3四半期以降については半導体製造装置部門で需要に不透明感はあるものの、通期でも当初見込を上回ることが予想されるため、通期業績予想を以下の通り修正いたします。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想並びに期末配当予想の修正及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照願います。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	60,000	9,400	9,400	6,000	145 47
今回修正予想	62,000	10,000	10,300	7,300	176 98
増減率	+3.3%	+6.4%	+9.6%	+21.7%	

（注）業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間期首の退職給付に係る資産、退職給付に係る負債及び利益剰余金に対する影響は無く、また当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響もありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,439	25,719
受取手形及び売掛金	20,841	21,802
商品及び製品	1,814	2,021
仕掛品	7,776	8,649
原材料及び貯蔵品	3,099	3,214
その他	1,982	2,406
貸倒引当金	△ 89	△ 90
流動資産合計	55,865	63,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,936	10,217
その他(純額)	8,832	8,571
有形固定資産合計	18,769	18,788
無形固定資産		
のれん	1,005	791
その他	421	491
無形固定資産合計	1,426	1,282
投資その他の資産		
その他	6,508	7,461
貸倒引当金	△ 5	△ 5
投資その他の資産合計	6,503	7,456
固定資産合計	26,699	27,527
資産合計	82,565	91,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,124	6,620
電子記録債務	—	6,916
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	1,156	1,223
賞与引当金	844	915
役員賞与引当金	5	2
その他	3,141	3,157
流動負債合計	15,571	20,136
固定負債		
長期借入金	800	600
役員退職慰労引当金	120	110
退職給付に係る負債	1,111	1,005
その他	293	721
固定負債合計	2,324	2,437
負債合計	17,896	22,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,238	10,246
資本剰余金	21,255	21,264
利益剰余金	30,776	34,446
自己株式	△ 111	△ 111
株主資本合計	62,158	65,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	714	1,116
為替換算調整勘定	672	590
退職給付に係る調整累計額	683	599
その他の包括利益累計額合計	2,071	2,306
新株予約権	320	383
少数株主持分	118	140
純資産合計	64,668	68,677
負債純資産合計	82,565	91,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	28,366	32,744
売上原価	18,066	20,205
売上総利益	10,300	12,538
販売費及び一般管理費	5,932	6,839
営業利益	4,367	5,699
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	35	34
為替差益	144	217
その他	49	36
営業外収益合計	233	295
営業外費用		
支払利息	26	19
その他	5	6
営業外費用合計	32	25
経常利益	4,569	5,968
特別利益		
投資有価証券売却益	72	—
新株予約権戻入益	6	8
特別利益合計	79	8
特別損失		
子会社清算損	12	—
ゴルフ会員権評価損	—	4
特別損失合計	12	4
税金等調整前四半期純利益	4,635	5,973
法人税、住民税及び事業税	613	1,349
法人税等調整額	1,137	390
法人税等合計	1,751	1,740
少数株主損益調整前四半期純利益	2,884	4,233
少数株主利益	17	26
四半期純利益	2,866	4,206

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,884	4,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	401
為替換算調整勘定	316	△ 85
退職給付に係る調整額	—	△ 84
その他の包括利益合計	718	232
四半期包括利益	3,602	4,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,575	4,442
少数株主に係る四半期包括利益	27	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,635	5,973
減価償却費	882	866
のれん償却額	213	213
株式報酬費用	83	81
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△125	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△113
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	△0
受取利息及び受取配当金	△39	△40
支払利息	26	19
投資有価証券売却損益(△は益)	△72	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,131	△1,102
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,812	△1,453
仕入債務の増減額(△は減少)	△499	4,249
その他	△7	△298
小計	4,745	8,384
利息及び配当金の受取額	39	40
利息の支払額	△38	△19
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△502	△1,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,243	7,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△11
定期預金の払戻による収入	86	11
有形固定資産の取得による支出	△852	△762
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△35	△103
投資有価証券の取得による支出	△469	△2
投資有価証券の売却による収入	702	0
子会社株式の取得による支出	△24	△160
貸付けによる支出	△0	△139
貸付金の回収による収入	14	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△589	△1,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,500	△200
リース債務の返済による支出	△26	△1
ストックオプションの行使による収入	33	6
配当金の支払額	△329	△536
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,824	△731
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,006	5,280
現金及び現金同等物の期首残高	18,147	20,411
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,311	25,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第2四半期連結累計期間(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	17,427	10,938	28,366	28,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,427	10,938	28,366	28,366
セグメント利益	2,202	2,165	4,367	4,367

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	半導体 製造装置	計測機器	計	
売上高				
外部顧客への売上高	20,463	12,281	32,744	32,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	20,463	12,281	32,744	32,744
セグメント利益	3,241	2,458	5,699	5,699

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。